

たいよう新聞

474号

7月10日発行

2025年

安全大会レポート

第1弾

社員一人ひとりの安全と健康は、事業の根幹を支えます。

6月1日から始まった全国安全週間準備期間中に、今年も各支店で安全大会が開催されました。

本稿では、名古屋・長野・九州各支店の安全大会の様子をお届けします。

全社で安全への誓いを新たに、無事故・無災害の職場を実現していきましょう。

名古屋支店



営業部
副部長

Nさん

開催日: 2025年6月4日(水)

場 所: 名古屋クレストンホテル

内 容: 来賓挨拶、社長挨拶、協力会社会長挨拶、安全講話、安全表彰、安全宣言

安全への意識を高める

労働災害の防止や安全意識の向上などを目的に、名古屋支店でも毎年安全大会を実施しています。原則全社員が参加し、協力業者からも各1名の参加をお願いしています。今年は総勢141名が参加しました。

2025年6月1日から、労働安全衛生法の改正により熱中症対策が事業者には義務付けられました。それに合わせて今回の安全講話では、安全環境部のK部長を講師に改めて熱中症の予防について学びました。細心の注意を払い、無理をせず、作業員の心身の健康を最優先に業務を進めていきたいと考えています。

総括

無事故への誓いと交流の場に

年に一度の安全大会は、労働災害の防止を考える上で良い機会となっています。当社は大きな事故は起こしていませんが、どのような規模であっても常に安全を最優先する会社でありたいと考えます。また、日頃から協力いただいている業者の皆さんと顔を合わせ、「久しぶりだね」「元気?」と和気あいあいと交流できる機会にもなっています。今後もこのような大会を継続していきたいと思っています。



◀ 安全表彰



長野支店



工事部
主任

Tさん

安全な職場環境に向けて 安全意識を育む

安全意識の向上を図って、労働災害を未然に防ぐという目的のもと、長野支店の社員に加え、協力会社の方々にもご参加いただき、本大会は総勢47名での開催となりました。



支店長挨拶▶

開催日: 2025年6月6日(金)

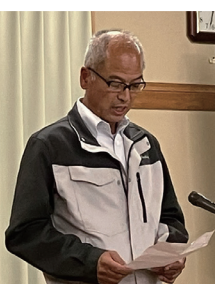
場 所: 合戦場公民館(長野市)

内 容: 健康測定、支店長挨拶、社長挨拶、安全講話、支店表彰、外部講師講話、安全宣言

総括

未来を見据えたこれからの安全管理

本大会は参加者が対話するような形式ではありませんでしたが、参加された皆さんは真剣に耳を傾けている様子でした。今年から熱中症対策が義務化され、会場にはWBGT(暑さ指数)を測定する端末が設置されていました。また、今年のスローガンは「多様な仲間と築く安全・未来の職場」となっており、外国人など多様な入職者を迎える上で、安全な職場環境を構築するためのコミュニケーションの重要性を改めて感じました。



▲社長挨拶



▲支店表彰

九州支店



工事部
主任

Mさん

安全な職場環境の醸成

工事現場において大きな事故を未然に防ぐため、小さなヒヤリハットを見逃さないよう安全への意識を新たにしました。怪我や事故は本人だけでなく、仕事仲間や家族をも深く傷つけます。「起きてからでは遅かった」と後悔しないよう、常に高い安全意識で臨むことの重要性を全員で共有しました。また、健康経営講話では明治安田生命の方に、健康のための食事をメインとしたお話をいただきました。本大会では、当社社員、協力会社の方々など約50名が参加しました。



▲支店長挨拶



▲社長挨拶代読

開催日: 2025年6月6日(金)

場 所: 博多バスターミナル貸ホール

内 容: 支店長挨拶、協力会社会長挨拶、安全表彰、安全宣言、健康経営講話

総括

管理者として安全作業を考える

私たち現場監督は、直接作業に携わらないからこそ、作業員の視点で危険を予知する必要があると再認識しました。また安全指示をただ繰り返すだけでなく、「どうすれば確実に実践してもらえるか」を考え抜き、実行に繋げることも、管理者の使命だと痛感しています。



▲安全表彰 企業



安全表彰 個人▶

最前線レポート

プレサンス金城二丁目新築工事

太洋基礎工業が担当したさまざまな現場を紹介するこの企画。今回は、今まさに進行中のプロジェクトである、愛知県名古屋市の主要道路に面した15階建ての高層マンション建築工事です。交通量の多い現場で、いかに安全と品質を両立させながら建物を創り上げているのか、その最前線に迫ります。

建築本部 係長

Yさん



現場概要

施工期間	2024年11月1日～2026年8月28日
場 所	愛知県名古屋市北区金城二丁目1203番
発 注 者	株式会社プレサンスコーポレーション様
元 請	太洋基礎工業株式会社
現場体制	太洋基礎工業株式会社2名、他協力会社約15名
施工目的	共同住宅の新築工事

現場の特徴

大通りに面した15階建ての高層マンション

現在建築中で、先日3階部分のコンクリート打設を終え、建物躯体の約3分の1が完了したところです。一般的なRC造で建設されていますが、今回の15階建ての建物は私がこれまで担当した中で最も高い建築物。今までの経験を最大限に活かしながら取り組んでいます。現場は名古屋環状線沿いにあり、車通りが多い場所。杭工事の際は大通りから重機を搬入しましたが、現在は1本南側の道路を搬入通路として利用しています。

苦 労した点と乗り越え方

こまめな声かけでお互いに話しやすい環境へ

現場付近は交通量が多いため、大きな重機の搬入や道路際の作業には特に気を遣います。安全管理のために日頃から意識しているのは、こまめな声かけです。新規入場時には注意点を細かく伝え、さらに作業中も「現場は順調?」「進捗はどう?」と積極的に声をかけてコミュニケーションを図ります。ときには雑談を交えながら、皆さんが気軽に話しかけられるような雰囲気作りを大切にしています。その結果、困っていることがあればすぐに相談してくれるため、安全かつスムーズに工事を進めることができます。

朝礼中▶



竣工に向けて



無理なく、工期内に完成を目指す

工事計画では、無理のない工程を組み、同時に余分な工期が発生しないよう心がけています。今後は工事の進捗に伴い、変更点も出てくるはずですが、その際は、職人の皆さんと話し合いながらスケジュールを修正し、完成に向けて滞りなく工程を進めていきたいと考えています。

現場でのエピソード

注目を集める工事、そして建物に

この工事に興味を持っている近隣の方も多く、「何階建てになるの?」と話しかけられることも。完成後は地域の注目を集める高層マンションとなるでしょう。



未経験からプロへ。共に未来を築く人材育成

現在、土木業界は人手不足という大きな課題に直面しています。そのような中でも、私たちは新しい仲間を迎え入れ、共に成長していくことに注力しています。現場で工夫しているのは、安全に作業を進めるための注意点を最初に伝えることです。そして、一人ひとりの習熟度に合わせて丁寧に、根気強く教えていきます。当社は、元気な体があれば、年齢や経験に関係なく活躍できる環境です。これから土木業界に挑戦したい意欲がある方と、未来を共に切り開いていきたいと願っています。

名古屋の新たなシンボルを支える、確かな技術力

当社は名古屋市内の栄エリアで新たなシンボルとして注目されている建物の建築工事に携わりました。今回のプロジェクトでは、都市部の厳しい条件のある中で大深度での施工が求められ、技術的に非常に難しい挑戦でした。しかし、当社が誇る地盤改良技術であるTRD工法を駆使し、社員一丸となって成功させることができました。2つのビルに込められた当社の高い技術力を、ぜひ皆様にも感じていただければ幸いです。



名古屋支店
工事部 副部長 **Hさん**

👑 月間MVP賞 👑

推薦理由

日頃の現場管理が認められ、元請(株式会社守谷商會様)から個人優良賞を受賞されました。
(推薦者 取締役
長野支店長 市岡 秀夫さん)

長野支店 工事部 課長

受賞者

Hさん



2025年の西武建設株式会社様の安全大会で、
OさんとYさんの2名がダブル受賞!

名古屋支店 工事部 副部長

受賞者

Oさん

推薦理由

西武建設株式会社様から携わった国交省発注の国道バイパス工事において、設計から施工(安全・工程・品質管理)まで実施したことが高く評価され、西武建設株式会社様の安全大会にて、西武建設協力会より安全衛生功労個人賞を受賞されました。

今後、益々の活躍を期待して月間MVPに推薦いたします。

(推薦者 名古屋支店
副支店長兼工事部長 Iさん)

名古屋支店 工事部 係長

受賞者

Yさん

推薦理由

同じく西武建設株式会社様から現場を担当したY係長の安全・工程・品質管理が高く評価され、西武建設株式会社様の安全大会で職長表彰を受賞されました。

また、Y係長は西武建設株式会社様、および西武建設協力会から安全表彰を受けるのは、4年連続となります。

引き続き、益々の活躍を期待して月間MVPに推薦いたします。

(推薦者 名古屋支店
副支店長兼工事部長 Iさん)